



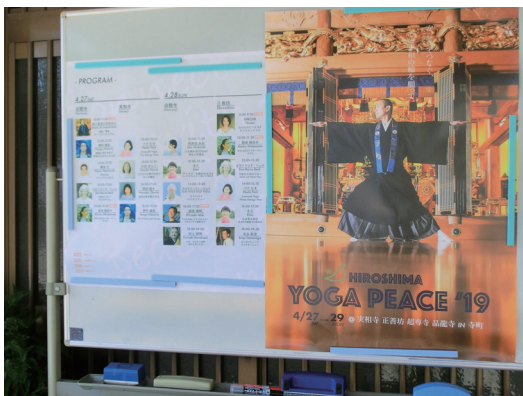
# HIGA NEWS

2019年5月 第54号

編集・発行 一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会 (HIGA)



会員の撮った1枚



## ゴールデンウィークの幕開けはヨガと共に HIROSHIMA YOGA PEACE 2019 in 寺町

広島でのGW イベントと言えば、フラワーフェスティバルが一般的だが、ヨガ愛好家にとっては「ひろしまヨガピース」となる。

10年目を迎え、昨年の宮島から寺町に場所を移し、4月27日から29日までの3日間、28の有料レッスンと、3つの無料レッスンが行われた。住職による雅楽の演奏や、抹茶の提供も。講師は国内外から招かれ、参加者も県内外から多数訪れた。

(写真は無料レッスンの様子)

# 広島平和記念資料館 本館 リニューアルオープン

佐藤 仁美 (英語会員)

4月25日、本館リニューアルを終え、平和記念資料館が約4年半ぶりに全面オープンした。それに先立ち、3月22日には学芸員による本館展示に関する説明会も開催された。

新しくなった本館では、実物を中心とした538点の遺品や写真などを展示。来館者に被爆者や遺族らの苦しみを感じてもらえるよう、説明文は最小限にしてある。遺品保護のため全体の照明はかなり落としてあるが、スポットライトが効果的で、展示物が浮き上がるようにも見える。枠のないガラスケースは四方から見やすく空間が広く感じられる一方で、あえてケースに収めず、目の前で直接見ってもらう形の展示物も多くある。

資料館の動線はこうなる。まずこれまで通り東館から入館、エスカレーターで3階に上がる。導



と4つの展示コーナーが続く。「救援作業に使ったとび口」「壁掛け時計」など、多くの新たな遺品の展示に加え、「外国人被爆者」「原爆孤児」など、これまで語られることのなかった人々の苦しみも紹介されている。「絵筆に込めて」の一角で紹介される原爆の絵は原画で、半年ごとに入れ替



再び渡り廊下を抜け、東館へ戻ると、「核兵器の危険性」(3階)、「広島歩み」(2階)につながり、1階が出口となる。

実際に見学してみると、本館に30分は欲しいと感じた。説明会では学芸員から、ガイドには本館見学前に「熱線・爆風・放射線」という被爆の実相を説明してもらい、時間がない時には本館をしっかり見てもらって欲しい、とのお話があった。

ついに全面オープンとなった資料館。これまで以上にお客様に原爆の悲惨さ、平和の大切さを感じていただけるよう、そしてひとりひとりのストーリーを知っていただけるよう勉強を続けていきたい。



入展示を抜け、渡り廊下へ。あの日へタイムスリップするような暗く長い通路の先に、被爆3日後の少女の痛々しい写真。そこから「8月6日の惨状」、「放射線による被害」、「魂の叫び」、「生きる」

えられる。



展示室を抜けた廊下のギャラリーは一転、大きな窓から光が差し込み、展示物もほとんど無く広くなった。平和記念公園をながめながら平和について考える空間だ。



# 広島ピースツーリズム・福島ホープツーリズム

## 会長 古谷 章子

2018年7月に広島大学のカロリン・フंक教授から、「広島大学が復興支援のため協定を結ぶ福島大学のカナダ人助教マクマイケル氏と福島県の観光物産交流協会職員4名が、広島県のインバウンドの隆盛の秘密を知りたいと来広されるので対応してもらえないか」と連絡を受けた。東日本大震災から8年経つが、福島は復興の遅れ、風評被害による来訪者数の低迷があり、2020年東京オリンピック・パラリンピックで来日する国際客の確実な増加が見込まれる今、ホープツーリズム（被災地をフィールドとした学びの旅）を推進したいと考えている。74年前に人類史上初の被爆の惨禍を受けながら、見事に復興しインバウンドの受け入れに実績を上げている広島のHIGAに学びたいとのことだ。



後列左から 福島県観光物産交流協会 阿部好宏／ 通訳案内士 貝沼実千代、坪井真喜／ HIGA 渡邊妙子  
前列左から 広島県観光課 渡辺夏菜／ 福島大学 マクマイケル・ウィリアム助教／ HIGA 古谷章子

福島では被災地の情報を正しく発信できる通訳ガイドの育成や組織化が喫緊の課題であり、HIGA 設立の経緯、人材育成、組織構成などについてさまざまな質問を受けた。

年が明けて今年2月には、福島県地域通訳案内士登録者を対象とした講演の依頼を受け郡山を訪れた。受講者の一人で福島原発事故被災者の方に、東京電力廃炉資料館や帰還困難地域を案内していただき、被害の甚大さを再認識した。帰広して3月11日前後のマスコミの福島関係の報道を目にすると、広島原爆投下後の放射線量の変化の調査や記録にあまり注意を払ってこなかったことを痛感した。

さらに3月中旬には助教、地域通訳案内士2名、福島県観光物産交流協会職員1名を広島にお迎えした。

1日目は宮島・広島サンライズツアーを実際に体験していただき、2日目は広島市のピースツーリズム推進懇談会の意見を反映して企画された、原爆ドーム、碑巡り、資料館以外にも見ていただきたい場所を載せたウェブ (<https://peace-tourism.com/top.html>) の訪問箇所を案内。昼食は広島県観光課の職員とHIGAの渡邊理事も同席、広島ピースツーリズムに対し、福島はホープツーリズムを掲げて色々な取り組みをしていきたいとの福島側の熱い思いを聴き、意見交換をした。苦しい状況をしのいで復興に力を注ぐ人間のたくましさ、しなやかさ、レジリエンス（復元力）を世界に示す広島と福島が、これからも知見や情報を交換していくことを願っている。

### HIGAの活動報告（2018年11月～2019年5月）

12月1日（土）HIGA 研修旅行「能体験と沼隈半島をめぐる旅」

12月6日（木）世界史講座「ラテンアメリカ諸国の動向」

2月23日（土）「一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会 2019年度定時総会」

ホテルサンルートにて、ご来賓・会員合わせて101名が出席して開催。

中国運輸局観光部部長 木嶋淳様をはじめ9名の来賓をお迎えし報告・審議が滞りなく行われて総会を終了。引き続き懇親会にて親睦を深めた。

5月9日（木）世界史講座「東欧諸国の歴史」

広島平和記念公園河岸  
元安橋たもとのオープンカフェ  
**Caffè Ponte**  
カフェ・ポンテ  
【住所】広島市中区大手町 丁目8-21  
【予約専用電話】082-247-7471  
年中無休

大正十四年創業  
**宮島藤い屋**  
〒739-0503 広島県広島市西区宮島町1229  
TEL. 0829-44-2921 FAX 0829-44-2922  
オンラインショップ <http://www.fujiya.co.jp>

# 研修旅行 能体験と沼隈半島をめぐる旅

武田 智実 (英語会員)

2018年12月1日に研修旅行が行われました。これは、福山と沼隈半島の魅力をお伝えするために、旅行担当グループ皆で相談、企画した旅行です。



まず、最初の目的地である大島能楽堂に向かいました。ホールで能楽師・大島衣恵氏から能の歴史、福山での公演や活動についてのお話を伺い、鼓などの実演を拝見しました。その後、私達は足袋をはいて、実際に舞台上で能の型を少し教えていただきました。静かな動きですが、集中力と動作のコントロールが必要です。また、別の部屋で大島氏から能面を見せていただき、面の傾きによって表情が変わる、などのお話も伺いました。参加者はみな、興味深くお話を聞いていました。

次に、福山市街を離れ、沼隈半島・常石へ。この地域は常石造船という会社が広く海沿いを占めており、その一角で水陸両用機を運航している、(株)せとうちホールディングス(現ツネイシホールディングス(株))を訪れました。スタッフの方の案内で、駐機場内を見学したり、お客様の待合ラウンジで運航サービスの内容を伺ったりしました。海上からの離発着で、空から瀬戸内海を遊覧するコース



は、地元に住む私も一度は体験してみたいと思いました。昼食は敷地内にある「SOFU パスタ & カフェ」でパスタランチをいただきました。12月にしてはとても穏やかな良い天気で、予定通りテラス席で食事をする事が出来、ほっとしました。



その後、最後の目的地、磐台寺・阿伏兔観音を訪れました。航海の安全と子授け・安産祈願所として知られています。また十返舎一九の「宮島参詣膝栗毛」で紹介され

たり、歌川広重の浮世絵に描かれたりしており、国の重要文化財にも指定されています。境内で伺ったご住職のお話はとてもユーモラスで、皆様、楽しく聞いておられました。

ここでの見どころはやはり岬の突端に建つ朱塗りの観音堂です。観音堂の周りには高さ50cm程度の欄干しかなく、下は絶壁です。高い所が苦手な私は欄干を強くにぎって、やっとお参りをしました。



地元とはいえ知らない事も多く、改めて調べたりお話を伺う機会を得ることが出来て、手前みそですがとても有意義な旅行だったと思います。外国からのお客様を含め、もっと多くの方に知っていただきたいと思います。

タクシー・ハイヤー・バス・トラベルは・・・

## つばめ交通株式会社

〒732-006 広島市東区牛田本町4-5-10  
配車センター 082 221 1955  
<http://www.tsubame.co.jp/>



みやじまの宿



〒739-0522 広島県廿日市市宮島町もみじ谷  
TEL 0829-44-2233 <http://www.iwaso.com/>



## 『寺・町・散・歩』 川の向こうに、静かな時間の流れを見つける 村上 美穂 (英語会員)

4月の終わり、夏日の陽気となり人混みでは息苦しさをを感じるほどだった。まもなく始まるゴールデンウィーク、年々増え続ける観光客で広島市街地は人で溢れかえるだろう。そんな時、一足伸ばして寺町へ出掛けるのはどうだろう。

民家や商店は少なく、「寺町」という名前の通り寺がずらっと建ち並ぶ。太田川で隔てられた八丁堀を中心とする都会の喧騒とは異空間だ。寺に付属する保育園や幼稚園から、園児の声は聞こえてくるものの、耳障りな音は聞こえてこない。

伝統的な意匠の寺々に並んで、にわかには日本の寺とは信じがたい建築様式の寺も目に付く。視線を空に向けてると、寺町散歩はますます楽しい。麓の波に並んで、白い塔や、西洋風デザインの屋根。その外観は、まるで外国の大使館か教会のようだ。あまりに個性的なデザインに、その場をしばらく離れられなくなる。

市街地に近いせいか、コンパクトにまとめられた寺も多い。高いビルの合間がぽっかりと凹み、覗けば墓地があり、墓



参りの人の姿が。町角のあちこちにある花屋には、色とりどりの花束がバケツに並んでいる。「特別な」というよりは、繰り返される日常の中にある供養の花だ。

紙屋町や広島城からは徒歩圏内、広島駅や平和記念公園からでも交通機関を使えばすぐの距離だ。少しペースダウンして落ち着きたい時、訪れて欲しい場所である。

## 仕事の現場から

### 瀬戸内国際芸術祭 2019 ご案内のヒント

柏原 尚子 (英語会員)

今年は瀬戸内国際芸術祭の年です。この芸術祭は3年に1度、瀬戸内海の12の島と2つの港を舞台に開催される現代アートの祭典で、会期は4月26日～5月26日、7月19日～8月25日、9月28日～11月4日となります。

瀬戸内がニューヨークタイムズにも取り上げられ、直島や瀬戸内が話題になって、様々な方が来られるようになりました。お客様のニーズに合わせて、見学場所を選びましょう。

全て見たいというアート通のお客様にはできるだけ効率よくお見せすると、お子さん連れだったり、直島は聞いたことがなかったけれど、旅程に入っていたというお客様には、無理をしてすべてご案内するには及びません。ベネッセハウスと地中美術館のみを見ていただき、ベネッセハウスから「黄かぼちゃ」まで屋外展示をゆっくり楽しみながら歩いていただくと喜ばれます。どれだけの作品をお見せするかというよりも、どれだけゆつたりと島の自然も合わせて時間を過ごせるかということにポイントをおくとお客様の満足度も高くなります。



瀬戸内芸術祭に合わせて、宇野にはチヌ、子チヌに加えて「真庭のシシ」が登場しました。岡山県北部にある真庭市内で回収したゴミを活用したイ

ノシシです。真庭市はゴミを減らし、また資源として再生させていく持続可能な社会を目指しており、そのアピールでもあるようです。

直島の本村役場の近くには建築家 三分一博志氏の新しい作品、「The Naoshima Plan 2019「水」」ができました。江戸時代には廻船業、明治時代には郵便局として「きよく」という屋号で呼ばれていた家を利用し、水の北庭、太陽の南庭などが配置され、映像作品も楽しめます。無料の施設ですので、直島ホールと合わせて家プロジェクト見学の際に休憩がてら立ち寄ってみてください。

芸術祭期間中は混雑しますが、宮浦から地中美術館に回る通常とは反対ルートは臨時バスも出ますので、これをうまく使えば効率よく回れます。  
([http://www.naoshima.net/access/access\\_from/](http://www.naoshima.net/access/access_from/))

直島内では、タクシー会社が2社利用できるようになりました。

日新タクシー 0120-841-524

大川タクシー 087-851-3358

貸切になっていて当日使えないこともあるので、ご注意ください。

豊島も臨時バスが出ます。直島 - 豊島の小型船は定員オーバーで乗船できないことがありますので、早めに港に戻られることをおすすめします。小型船にも増便があります。

(<http://benesse-artsite.jp/access/>)

それでは、瀬戸内で楽しい時間をお過ごしください。

## HIGA 文化講演会のご案内

本年度のHIGA文化講演会は、上嶋 英機氏を講師にお招きします。

一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会理事長である上嶋氏は、瀬戸内のスペシャリストです。瀬戸内は、「瀬戸内の島々」がニューヨークタイムズ紙において2019年訪れるべき場所の第6位に選ばれた、まさに現在世界中から熱い視線が注がれている場所です。

上嶋氏の貴重なご経験やお考え、また近くにあるけれど実はまだまだ知らない魅力にあふれている瀬戸内のお話を直接伺うことができるまたとない機会です。多数のご参加をお待ちしております。

### 『瀬戸内海のエコツーリズム』

講演者：上嶋 英機 氏

一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会 理事長

日時：2019年 9月 14日(土) 午後1時半～3時半

場所：JMS アステールプラザ 4階大会議室 AB

(広島市中区加古町4-17)

定員：100名(要予約)

参加費：無料

お問い合わせ・お申し込み：(一社) ひろしま通訳・ガイド協会 (HIGA) [higa@urban.ne.jp](mailto:higa@urban.ne.jp)



上嶋 英機 氏

### 【ご協力ありがとうございます】

~with sincere thanks~



HIGA 賛助会員の皆様 (2019年5月現在 順不同、敬称略)

団体会員： 広島紅葉ライオンズクラブ 広島商工会議所 広島トヨペット (株) (有) はやし  
JTB 協定旅館ホテル連盟広島支部 つばめ交通 (株) (株) 藤い屋  
(一社) 広島県観光連盟 カフェ・ポンテ 藤井循環器内科 岩惣  
広島県民文化センター あいおいニッセイ同和損害保険 (株) 広島自動車営業部

個人会員： くらわんか 海生 直人 延本 真栄子 吉井 敏弘 龍山 壬生子  
田島 謙治 ぎやらりい宮郷 花やしき 河井 案里 古谷 英明  
嘉屋 基一 辻 孝和 川北 正明 吉中 康磨 青野 重信  
河野 博行 いけもと よしこ 清水 憲吉 藤井 倫子

賛助会員としてご協力くださる団体、個人の方を募集しています。ぜひこの機会に入会をご検討くださるようお願いいたします。年会費は一口につき団体会員2万円、個人会員5千円です。団体会員には、HIGA ニュースに広告掲載の特典があります。お申し込み、お問い合わせは当協会事務局 082-245-8346 (月～金 10:00～17:00) まで。

本紙へのご感想・ご意見をお寄せ下さい。HIGA 事務局へ FAX・Eメール：[higa@urban.ne.jp](mailto:higa@urban.ne.jp) どうぞ。

【表紙の写真・文】 村上 美穂 (英語会員)

【編集後記】令和が幕を開けた。「人々が美しく心を寄せ合う中で文化は花咲く」という意味がこめられているという。大きな災害は頻発したが、戦争はなかった平成。果たして令和はどんな時代になるのだろうか。国際情勢が大きく揺れ動いている今だからこそ、平和でみんなが希望を持てる時代であってほしいと、心から願う。(風信子)

## 藤井循環器内科

宇品3丁目電停前

英語・伊語 対応

診療科目 内科：循環器・消化器(胃カメラ)・呼吸器  
放射線科(マルチスライスCT)

〒734-0004 広島市南区宇品神田2-14-24 ☎(082)252-0133

焼がきの  
はやし

焼がきにこだわって六十年  
宮島屈指の歴史を誇る



<http://www.yakigaki-no-hayashi.co.jp/>